

第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ 2021 第一次審査結果



撮影：柳原良平

富山県美術館では、3年に一度開催するポスターの国際公募展「第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2021」（会期：2021年7月10日～9月5日）の入選作品を決定する第一次審査会を、4月12、13日に行いました（審査員：左より室賀清徳氏、川上典李子氏、佐藤卓氏、三木健氏、色部義昭氏、藤崎圭一郎氏）公募の部門は、A部門紙媒体のポスター、B部門自主制作テーマ「INVISIBLE」の紙媒体応募2部門と、デジタルデータでの自主制作テーマ「INVISIBLE」での応募部門U30+STUDENTの計3部門としました。U30+STUDENTは、前回、30才以下若手を対象としたU30部門の応募対象を30才以上の学生にも拡大したものです。今回は、全部門合わせて64の国と地域から、過去最高となる5,943点もの応募が寄せられ、厳正な審査の結果、401点が入選となりました。

なお、グランプリ以下各賞を決定する第二次審査会は、7月上旬に開催する予定です。

（入選となった方にのみ、入選通知を郵送にてお送りしています）

○IPT2021 第一次審査員（50音順）

色部義昭（アートディレクター、グラフィックデザイナー）
川上典李子（富山県美術館デザインアドバイザー、21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター）
佐藤卓（グラフィックデザイナー）
藤崎圭一郎（デザイン評論、東京藝術大学デザイン科教授）
三木健（グラフィックデザイナー）
室賀清徳（デザイン評論、「アイデア」元・編集長）

○IPT2021 第二次審査員（50音順）

浅葉克己（グラフィックデザイナー）
佐藤卓（グラフィックデザイナー）
松永真（グラフィックデザイナー）
三木健